

家庭教育力の強化を図る

## 「島の宝」を育む 小中連携 P T A 活動

南知多町立篠島小学校 P T A

### 1 はじめに

篠島は、知多半島最南端の師崎港から高速船で10分程の位置にあり、豊かな海の幸と美しい自然、多くの名所旧跡、そして伊勢神宮との深い関わりもつ魅力にあふれた島である。子どもたちは、地域から「島の宝」として大切にされ、素直で元気に成長している。



【篠島小学校の遠景（中央）、右端が中学校】

本校は、その篠島にある小規模（各学年1学級）学校である。旧校舎の耐震不足により、10数年前に小学校が現在地に移された。現校舎は中学校と隣接しており、また小学生と中学生との交流が日常的であることもあり、避難訓練などの行事をはじめ、様々な活動で小中連携教育を推進している。

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

篠島の小中学校は、物理的にも精神的にも互いの距離が近いこともあり、多くの保護者が一つの学校という感覚をもっている。

そこで、小中学校の P T A が意図的な連携を行うことにより、保護者にとっては小中9年間を見通した家庭教育の推進に、児童生徒にとっては安心安全な学校に、学校にとっては効率的な学校運営につながると考え、小中連携の P T A 活動を推進することとした。

#### (2) P T A 組織

本校の P T A は、理事会と下記の4部で組織され、全 P T A 会員が4部のいずれかに所属することとなっている。

○健康・福祉部：学校保健委員会の運営

：親子除草作業等の学校環境整備

○研修部：家庭教育教室の企画運営、出前授業等の手伝い

○広報・図書部：児童への読み聞かせ活動

○生活指導部：交通安全教室の運営、夏休みのプール当番

また、理事会は役員と4部幹部により構成され、基本的に年間5回、PTA行事・学校行事などについての計画作成、さまざまな課題に関する情報共有や協議などを行っている。その中の第2回理事会を、中学校PTAとの『合同理事会』としている。

### 3 実践活動の概要

#### (1) PTA合同理事会

小中学校PTAが互いに連携して活動を推進するため、6月頃に「小中学校合同PTA理事会」を開催している。令和3年度は、コロナ感染拡大防止のため紙面開催となってしまったが、例年、島の教育委員さんにも出席していただき、篠島全体の意思統一を図る場となっている。

令和3年度の合同PTA理事会の協議事項としては、

①小中合同親子除草作業について（後述）

②町P連予算要望「通学路の安全確保」について

が予定されていたが、書面を配付し理事さんから意見をいただいた。協議事項の中でも、「通学路の安全」については、事務局が用意した原案以外に多くの危険箇所の指摘や要望が出されたため、役員と学校で様々な観点から協議した後、要望を町に提出していった。

また、令和2年度には、教育委員さんから、町の教育施策についての話があった。特に保護者が直面している学校再編への関心は高く、町の現状や他地区の情報などを伝えていただいた。

#### (2) 小中合同親子除草作業

児童・生徒、職員ともに少人数である上、豊か過ぎる程の自然に囲まれた外庭は、環境整備を日常的に行っていくことが困難である。そのため、小中学校PTAの健康・福祉部が中心となって、小中合同の親子除草作業を実施している。

以前は、2学期を気持ちのよい環境



【みんなで協力してきれいな学校に】

で迎えるため、夏休みの出校日に実施していたが、熱中症の危険を考慮し、令和2年度より区民運動会（中学校運動場で開催）前の10月実施に変更された。保護者が参加するとは言え、草刈りと片付けを当日だけで行うのは不可能なため、事前に草刈りを行っておき、当日は刈り取った草を集めて片付けるという作業のみを行っている。それでも土手の草を熊手で掻き集め、軽トラックの荷台に積み込む作業は大変で、親子ともに汗を拭きながらの活動となった。大量の草を片付けた後の運動場や土手はさっぱりとして、参加した親子ともに気持ちのよい表情をしていた。

### （3） リサイクル倉庫の管理

篠島にあるリサイクル倉庫（島の人々は「段ボール倉庫」と呼ぶ）には、島内の各家庭からの段ボール・新聞・雑誌が集まってくる。篠島区からの依頼を受け、小中のPTA理事が年末等の特別な期間を除いて毎週月～土曜日に鍵の開閉や整理を行っている。現在は、小学校が6月～1月を担当しているが、その前後を中学校が担当し、小中学校の職員も計6回（6週）担当している。令和4年度より小学校では理事を減員したこともあり、小学校PTA理事は3回（3週間）カギ当番がまわってくる。決して楽な役割ではないが、小規模校でほぼ全員が理事になることもあり、責任をもって活動し、地域の大きな役割を担っている。

リサイクル倉庫の管理自体を児童は行っていないが、その状況を話すことで環境教育の一環としている。またそこでの補助金等はPTA活動資金として活用し、児童の活動や環境整備を進めている。

### （4） 地域行事への参加

篠島は地域のつながりが強く、いくつもの行事に児童が参加している。学校行事ではないが、PTAもその行事に協力している。

右の写真は、7月の「祇園まつり・野島まつり」1日目の午後に行われる、子ども相撲大会の様子である。大会の前日は、砂を土嚢に詰めて周りを固めるなど土俵づくりに汗を流し、当日は相撲の勝負審判を務めている。暑い中ではあるが、真剣に相撲を取る子どもたちの姿を見るのは楽しくもある。また、相撲を取り終



【相撲大会：土俵づくり・審判はPTAの役割】

えて汗だくの子どもたちのために用意した冷たい飲み物に喜ぶ顔を見るのも楽しいようである。

#### (5) 通学路等の安全確保

令和2年度、休日ではあるが、本校児童が大きな事故にあったことから、子どもたちの安全な生活についての話し合いが行われた。その結果、次のような活動で、安全への働きかけを進めることとなった。

○週2日の朝の交通立ち番(横断歩道3箇所)を、毎日行うことにする。

○通学路を見直し、安全な堤防道路上を歩くことにする。

○篠島区の協力も受け、島内の危険箇所に足型マークを設置する。

○交通事故の可能性のある危険な場所では遊ばないことを指導する。

本校は小規模校のため、当番日数が大幅に増加したが、子どもの安全への思いから全保護者が協力的に取り組んでいる。また、島には遊べる広場が少なく、広場まで遠い子もいるが、遊ぶ場所や遊び方について家庭と学校が共に子どもに指導している。このような活動のおかげもあり、その後は事故もなく、安全・安心な毎日を送ることができている。



【立哨当番：毎朝の登校見守り】



【足型マーク設置：ここで止まって】

#### 4 おわりに

本校は小規模校なためPTA会員数が少なく、どうしても活動が小規模になってしまう。それを補うための一手段として、中学校PTAとの連携に取り組んだ。篠島は1小学校1中学校であるため、PTA会員数が一挙に数倍になるわけではないが、中心となって活動する役員が倍になることで、小学校単独のときより、確実に活発な活動ができるようになったと感じる。

保護者も忙しい中でPTA活動を進めている。小中PTAが連携することで、少しでも効率よく、かつ子どもたちのためになるPTA活動ができるよう、今後も研究実践を重ねていきたい。